

第54回

= 創立97年 =

貞香書展

2019.6.26(水)~7.8(月)

(7.2(火)は休館日)

国立新美術館 3A 港区六本木

10:00~18:00(入場は17:30まで) 最終日は15:00閉館(入場は14:00まで)
〈入場無料〉 ご高覧いただけると幸いです。

- ・ 講演会 6月29日(土) 11:00~12:30 国立新美術館講堂
〈講師〉：恵美千鶴子先生(東京国立博物館百五十年史編纂室長)
〈演題〉：「平安時代の書之美~空海から行成まで~」
聴講無料/定員200名(申込先着順) 申込先/貞香会事務所
- ・ 席上揮毫 6月30日(日) 11:00~12:00 (国立新美術館講堂)

主催・貞香会

会長 赤平泰処
理事長 光谷素仙

後援・毎日新聞社

(一財)毎日書道会
(公社)全日本書道連盟

貞香会事務所

〒135-0007
東京都江東区新大橋
1-5-4-211 根本方
TEL 03(6284)0466
FAX 03(6284)0467

貞香会とは

貞香会は、大正12年（1923）に書文化の研究と、書芸術の創造を目指して中村素堂が創立し、今年で97年を迎えました。この間、北京・中国美術館（1999・2005年）、台北・国立歴史博物館（1991年）等での海外展も開催してまいりました。毎年、貞香書展・貞香会総合書展を開催し、また、毎日書道展、東方書展にも参画しております。

創設者

中村素堂（1901-1982）は、静岡県に生まれ、15歳で西川春洞の高弟・武田霞洞に師事しました。日本書道美術院、毎日書道展、東方書展の創設に参画し、書壇の再建に努めた近代日本を代表する書作家で、歌人でもあります。その書風は硬質の書を信条として、新文人主義、仏教を根底に置いた書を発表してまいりました。大正大学名誉教授で、武蔵大学をはじめ多くの教壇に立ち、後進の育成、書教育の普及にも邁進しました。また、生涯を通じて蒐集した古今の墨蹟・絵画・古写経をはじめとする系統だった書の研究資料は、後進の研究者のために一括して江戸東京博物館に収蔵されています。



第54回貞香書展入賞者

特別賞・審査会員推挙 武内 陽華 渡辺 蒼秀
 推薦・会員推挙 佐藤 観雨 関根 熙雲 大石 碧堂 根本 柏暢 室田 彩翠

公募1部

■特選

漢字多字数部門 柿沼 陽和
 仮名部門 伊藤 裕子 今井 文子

■準特選

漢字多字数部門 松本 芳琇 成田 素旭 林 玉凜 上杉 香荘
 漢字少字数部門 杉山 桃月
 仮名部門 塩野 貞澄

■秀作

漢字多字数部門 峯岸 悦子 椛島 来未 川本 桃子 長瀬 亮一 渡辺 蘇心
 岡 聖紅 松野 澄水 橋本 和奏 飛田 静風 奈良田有亮
 村山 栄俊
 漢字少字数部門 鶴見 侑樹

■高校生奨励賞

漢字多字数部門 大塚那津子 水上 千湖
 漢字少字数部門 福田香朱美 塩濱 花菜 滋野 綾菜 渡邊 陽奈

公募2部

■特選

漢字多字数部門 壺井 尚子 後藤久美恵 曾根 信行 沢田 可祝
 漢字少字数部門 酒井 貞子

■準特選

漢字多字数部門 毛利 佳峰 長田 晴海 榎本 良子
 漢字少字数部門 小泉 直子 星野 克美 高田美佐江 鈴木 彩香 加藤絵美子
 根本 悠彩
 仮名部門 佐々木 翠 中上 和美

■秀作

漢字多字数部門 村山 順子 中村 颯 伊藤 香風
 漢字少字数部門 伊藤 美恵 仲井 照子 田村美佐子 本宮 俊子 寄山 順華
 市村 星華 鈴木 翠鴻 関 智子 吉田 幸代 田中 峰堂
 星 文子 吉岡 紀子 渡邊千恵子 佐藤 玄風 田杭 敬心
 萩原 柊花
 仮名部門 ロゼワルド 朋子 大崎 素風
 詩文書部門 前原 英子

■高校生奨励賞

漢字少字数部門 芳田 晏奈 伊丹 瞳子

第54回貞香書展出品者

	顧問				永井 静軒〔埼玉〕	西行花伝より
審	荒木 大樹〔東京〕	白楽天句			中村 香柯〔埼玉〕	「意遠情融氣和神逸」
審	中村 青藍〔埼玉〕	千字文一句		審	半田 桃香〔静岡〕	陸游詩
審	中村 素岳〔埼玉〕	蘇東坡句		審	三浦 看山〔神奈川〕	杜甫詩
	参与				監事	
	後藤 鶴台〔山形〕	五唄の一句			杉戸 泰岳〔埼玉〕	秦觀詩
	大野 宜白〔埼玉〕	「江山滿花柳」			長尾 泰邨〔青森〕	李白詩
審	中谷 春徑〔東京〕	和歌一首			評議員	
	晝間 欽堂〔東京〕	「穿地能通泉」			秋田谷岱空〔千葉〕	顧絳詩
審	松本 宜響〔栃木〕	「絶慮」		審	飯野 柳舩〔埼玉〕	杜審言詩
	若井 香樹〔東京〕	井上靖詩一節		審	石原 翠山〔東京〕	李白詩
	参事				海野 蒼秀〔埼玉〕	「照顧脚下」
審	柏木 南城〔東京〕	「碧樹深」			加地 香泉〔東京〕	杜牧詩
	加茂 泰玄〔栃木〕	「福智無邊誓願集」			末永 江春〔千葉〕	白秋の歌
	中村 大如〔東京〕	朱子詩			審査会員	
	中村 東泉〔千葉〕	鄭紀詩			赤尾 真堂〔兵庫〕	陸海詩
	平林 大舒〔茨城〕	曾良句			五野 雪香〔東京〕	トルストイのことば
	二木 秀蔭〔埼玉〕	雪村友梅詩			岩崎 芳穂〔茨城〕	杜甫詩
	山根 紅樹〔東京〕	陸游詩			岩田 映洞〔埼玉〕	五言句
	会長				上野 泰僊〔埼玉〕	沈石田句
審	赤平 泰処〔東京〕	杜甫詩			大塚 澄心〔埼玉〕	李白詩
	理事長				大屋 泰穹〔青森〕	李賀句
	光谷 素仙〔神奈川〕	岑參詩			岡部 賀苑〔埼玉〕	文徵明句
	副理事長				沖 素宮〔埼玉〕	杜審言詩
審	奥山 泰嶺〔埼玉〕	三論玄義一句			小澤 茜逕〔東京〕	韋應物之句
	坪内 雪山〔新潟〕	謝玄暉詩			亀和田郁芳〔栃木〕	七言二句
	事務局長				川北 澄月〔東京〕	串田孫一の詩
	根本 泰邱〔千葉〕	李紳詩			川島 栖園〔埼玉〕	梅堯臣詩
	事務局次長				倉石 芳園〔埼玉〕	五言律詩
	小峰 紀州〔千葉〕	「豚魚」			酒井 芳華〔岐阜〕	李東陽詩
	鈴木 蓮徑〔栃木〕	「清歌妙舞」			佐藤 光華〔埼玉〕	三好達治詩
	理事				真田 禧子〔埼玉〕	原石鼎の句
審	飯野 彩心〔栃木〕	柳惲詩			清水 淡雲〔埼玉〕	七言二句
	今井 泰篁〔東京〕	「回天之力」			鈴木 大嘉〔新潟〕	「落塵」
審	後上 菁華〔埼玉〕	黄庭堅詩			関野 松如〔東京〕	奥の細道より
	高木 素近〔東京〕	陶淵明詩			津田 貞巖〔埼玉〕	論語里仁語
審	高橋 珠翠〔東京〕	王士禎詩			中田 翠苑〔千葉〕	崔顥詩
審	富田 青軒〔千葉〕	宋之問詩			中濱 瑞花〔埼玉〕	三好達治詩

審 中村 汀華〔埼玉〕「虚静自慎率心成諒」
 審 浜瀬 碧水〔東京〕蘇東坡詩一節
 平澤 大廣〔栃木〕張説詩
 深井 汀苑〔埼玉〕玄宗皇帝詩
 藤田 彩緒〔埼玉〕朝顔
 細田 香瑤〔千葉〕魚玄機詩
 真下 良祐〔千葉〕月二首
 三上 大岑〔島根〕「初春令月」
 三石 貞紅〔茨城〕杜甫詩
 光田 秀穂〔埼玉〕茨木のり子詩
 室井 汀翠〔埼玉〕倪濂詩
 森 小華〔千葉〕王瑤湘詩
 矢口 昌華〔千葉〕杜甫詩

会員

石山 心茜〔埼玉〕韋応物詩一節
 伊藤 朱楊〔東京〕王維詩
 岩渕 響泉〔栃木〕郭店楚墓竹簡より
 上坂 木蘭〔東京〕王維詩
 浦野 芽衣〔埼玉〕劉基詩
 海老原綵翎〔埼玉〕三好達治の詩
 大恵田萌音〔千葉〕沈佺期詩
 小野 淨徑〔東京〕陳子昂詩
 加藤 翁雪〔栃木〕「奔雷墜石」
 川嶋 芳岳〔千葉〕七言律詩
 北村 亭弘〔埼玉〕沈佺期詩
 草間 篁山〔新潟〕王維詩
 近藤 朗詠〔埼玉〕郭奎詩
 佐伯 麗子〔神奈川〕和歌四首
 佐藤 泰石〔福岡〕杜審言詩
 佐怒賀昌琴〔埼玉〕自詠句
 下川 翠雨〔東京〕陶淵明詩
 白根 如雪〔東京〕三好達治詩
 鈴木 芳草〔埼玉〕白樂天詩
 鈴木 玲香〔千葉〕蘇東坡詩
 武内 陽華〔埼玉〕俵万智の歌
 津村 佳園〔東京〕李頎詩
 富田 希〔長崎〕李賀詩
 長尾 貫清〔青森〕杜甫詩
 日向野光苑〔千葉〕斎藤茂吉の歌

松浦 芳春〔千葉〕朱子詩
 松田 翠心〔東京〕深窓秘抄より
 緑川 杏泉〔千葉〕李白詩
 山崎 香彩〔埼玉〕李愷詩
 横張 瑞泉〔茨城〕王維詩
 渡辺 蒼秀〔神奈川〕李白詩
 渡邊 芳香〔埼玉〕岑參詩

委嘱

青木 香露〔東京〕沈佺期詩
 池ヶ谷千恵〔静岡〕白居易詩
 池田 翠雨〔千葉〕藤原與風の歌
 池田 紀子〔栃木〕孟浩然詩
 市川 賀雪〔青森〕「晨露發荷香」
 稲田 珪堂〔群馬〕袁宏道句
 江藤 静蘭〔東京〕夏目漱石詩
 江原 覺堂〔東京〕蘭亭句
 大芦 卿雲〔埼玉〕歐陽脩詩
 大石 碧堂〔静岡〕沈佺期詩
 大島 翠玲〔東京〕沈佺期詩
 大堀 谿光〔千葉〕李永安句
 及川 佩玉〔千葉〕月三首
 恩田 澄光〔東京〕蘇東坡詩一節
 金子多恵子〔神奈川〕祖詠詩
 川端 正廣〔東京〕張九齡詩
 越川 淑泉〔千葉〕杜甫詩
 佐藤 観雨〔東京〕杜牧詩
 塩野 洋子〔栃木〕徳大鼎より
 志太 恵佳〔千葉〕月二首
 篠原 翠峰〔東京〕李白詩
 清水 天悠〔栃木〕「如是我聞」
 菅谷 虹泉〔千葉〕趙翼句
 鈴木 英男〔栃木〕七言二句
 鈴木 葉香〔千葉〕宋之問詩
 関口 恵子〔群馬〕杜甫詩
 関根 熙雲〔群馬〕黄閨詩
 早乙女直美〔栃木〕「玄寂」
 高橋 桂祉〔埼玉〕蘇味道詩
 田辺 由美〔神奈川〕岑參詩
 塚山 清峰〔埼玉〕文同詩

土屋 秀樹〔千葉〕 顧況詩
 中川 秀雲〔千葉〕 夢三首
 中島 恭子〔静岡〕 杜甫詩
 中村 吟有〔千葉〕 和歌六首
 根布谷翠紅〔東京〕 張説詩
 根本 江南〔千葉〕 杜甫詩
 根本 柏暢〔東京〕 吳蘭雪詩
 野村 佳鈴〔千葉〕 四季諷歌
 橋本 竹泉〔栃木〕 李白句
 原田 豊蘭〔東京〕 村山亘の詩
 保坂 登志〔栃木〕 「静坐得幽趣」
 堀越 紅蓼〔茨城〕 源氏物語より
 益本 雪華〔東京〕 益本恒夫の句
 松下 彩虹〔東京〕 黄庭堅詩
 村木 香風〔東京〕 やなせたかしの詩
 室井 佳鶴〔千葉〕 恋歌六題
 室田 彩翠〔東京〕 つぶやき〈自詠詩〉
 和田 芳華〔栃木〕 「鸞舞蛇驚」
 渡辺 萌苑〔東京〕 蘇東坡詩

会友

井出 映泉〔千葉〕 躬恒の歌
 伊藤 泉映〔千葉〕 賈島詩
 今井 文子〔栃木〕 臨 源氏物語絵巻一節
 上杉 香荘〔東京〕 臨 礼器碑一節
 川本 桃子〔栃木〕 王維詩
 向後 佳溪〔千葉〕 常建詩
 坂本 友香〔東京〕 王維詩
 杉山 貞馨〔茨城〕 蘭亭序
 長畑 裕子〔東京〕 良寛詩
 橋本 和奏〔東京〕 程明道詩
 林 玉凜〔東京〕 蘇東坡詩
 飛田 静風〔千葉〕 杜審言詩
 峯岸 悦子〔東京〕 李頎詩
 渡辺 蘇心〔山梨〕 白樂天詩

公募一部出品者

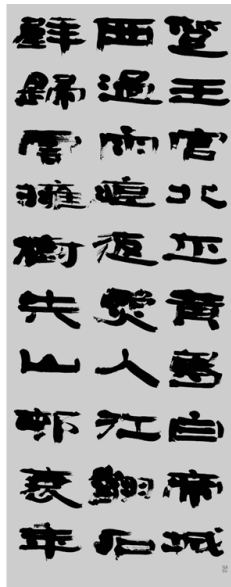
浅野 照雄〔東京〕 白居易詩
 伊藤 裕子〔千葉〕 全臨 高野切第三種
 大塚那津子〔栃木〕 杜甫詩

岡 聖紅〔東京〕 王灣詩
 柿沼 陽和〔埼玉〕 陸游詩
 椛島 来未〔神奈川〕 程明道詩
 佐藤 史帆〔静岡〕 元好問句
 塩野 貞澄〔茨城〕 和歌五首
 塩濱 花菜〔栃木〕 陸放翁句
 滋野 綾菜〔栃木〕 王鎬句
 須賀 啓太〔埼玉〕 田辺碧堂詩
 杉山 桃月〔静岡〕 陳晋句
 平良なな子〔東京〕 王維詩
 鶴見 侑樹〔栃木〕 「翰墨游戲」
 徳井 真緒〔神奈川〕 杜甫詩
 長瀬 亮一〔東京〕 岑參詩
 中谷 里菜〔茨城〕 杜審言詩
 奈良田有亮〔千葉〕 臨 孫秋生造像記一節
 成田 素旭〔埼玉〕 于若瀛詩
 福田香朱美〔栃木〕 胡天游句
 松野 澄水〔東京〕 項忠詩
 松本 芳琇〔埼玉〕 吳蘭雪詩
 水上 千湖〔栃木〕 杜審言詩
 村山 栄俊〔東京〕 白居易詩
 渡邊 陽奈〔栃木〕 白樂天句

公募二部出品者

伊丹 瞳子〔千葉〕 「和敬清寂」
 市村 星華〔栃木〕 杜甫句
 伊藤 香風〔千葉〕 韓翃詩
 伊藤 美恵〔東京〕 李商隱詩
 猪瀬 貞櫻〔茨城〕 俳句二首
 牛村ひろみ〔東京〕 和歌二首
 榎本 良子〔東京〕 孟浩然詩
 遠藤 由信〔神奈川〕 李白詩
 大木 秀佳〔埼玉〕 劉禹錫詩
 大崎 素風〔千葉〕 惜別の鳥
 大竹 空翠〔千葉〕 錢惟善句
 小野 茜雲〔埼玉〕 李嘉祐句
 加藤絵美子〔東京〕 簡文帝句
 木村 紅祥〔茨城〕 孟浩然詩
 小泉 直子〔神奈川〕 禪語
 小滝 洋一〔栃木〕 蘇軾詩

後藤久美恵〔神奈川県〕	臨 風信帖一節	村山 順子〔埼玉〕	王維詩
小松 佳代〔東京〕	「瀟灑」	毛利 佳峰〔千葉〕	徐璣詩
齋藤 節子〔東京〕	狄仁傑句	本宮 俊子〔千葉〕	袁孝句
酒井 貞子〔東京〕	「凌雲」	山内 俊子〔青森〕	臨 枯樹賦一節
寄山 順華〔静岡〕	趙乘文句	山口 秋草〔東京〕	「萬壽」
佐々木 翠〔北海道〕	殷富門院大輔の歌	山口 佑珠〔千葉〕	李白句
佐藤 玄風〔千葉〕	朱存理句	山中 恵理〔埼玉〕	菜根譚句
沢田 可祝〔東京〕	蘇頌詩	山本 恵翠〔千葉〕	司空曙句
鈴木 彩香〔千葉〕	倪瓚句	山本 幸三〔東京〕	オスカー・ワイルドのことば
鈴木 翠鴻〔千葉〕	斯植句	吉岡 紀子〔神奈川県〕	「而今」
関 智子〔東京〕	李調元句	芳田 晏奈〔東京〕	沈名孫詩
曾根 信行〔静岡〕	杜甫詩	吉田 光陽〔栃木〕	周邦彦句
高田美佐江〔東京〕	白居易句	吉田 幸代〔東京〕	臨 千字文一節
高橋英美子〔東京〕	般若心經	米山 聖〔神奈川県〕	聖ラファエラ・マリア・ポラスのことば
高濱 夏彩〔東京〕	齊藤茂吉句	ロゼマリア 朋子〔東京〕	和歌四首
瀧澤 理子〔埼玉〕	臨 多宝塔碑一節	若梅 照華〔千葉〕	錢惟善句
田杭 敬心〔千葉〕	王良臣句	若生 瑞峰〔千葉〕	易経一節
田中 峰堂〔東京〕	「萬物備於我」	渡邊千恵子〔千葉〕	僧英詩
田村美佐子〔神奈川県〕	田錫句		
壺井 尚子〔東京〕	王維詩		
仲井 照子〔東京〕	錢惟善句		
中上 和美〔東京〕	臨 関戸本古今集一節		
長田 晴海〔東京〕	沈佺期詩		
仲野 好重〔東京〕	福澤諭吉の言葉		
長畑 美成〔東京〕	般若心経秘鍵一節		
中村 颯〔千葉〕	臨 多寶塔碑一節		
根本 悠彩〔千葉〕	袁士元句		
野口佐和子〔東京〕	「春風秀芳草」		
萩原 柊花〔千葉〕	陸游句		
長谷川千枝子〔東京〕	元好問詩		
廣瀬 遥〔東京〕	文徵明語		
深谷 節子〔茨城〕	馮夢龍句		
星 文子〔東京〕	臨 蘭亭序一節		
星野 克美〔東京〕	錢起詩		
前川 清翠〔東京〕	楊雲翼句		
前原 英子〔東京〕	高野辰之詩		
水須 涼華〔千葉〕	陸游句		
宮川万理子〔東京〕	陶淵明句		
村田 良苑〔千葉〕	葉菌句		



会長 赤平泰処



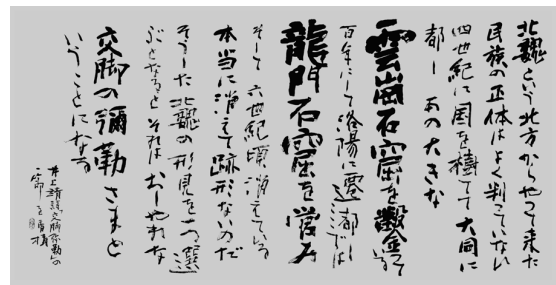
顧問
中村青藍



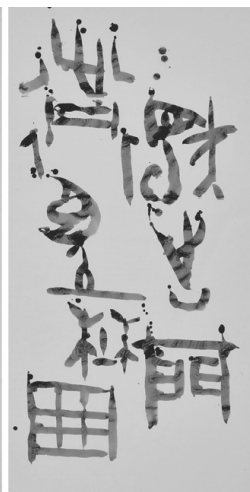
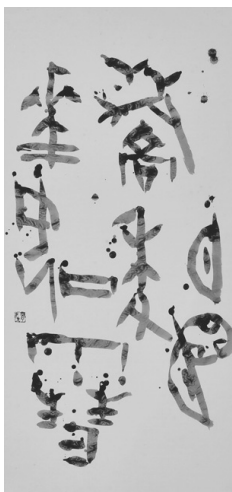
参与
後藤鶴台



顧問 中村素岳



参与 若井香樹



顧問 荒木大樹



参与
中谷春径



参与
大野宜白



参与 松本宜響



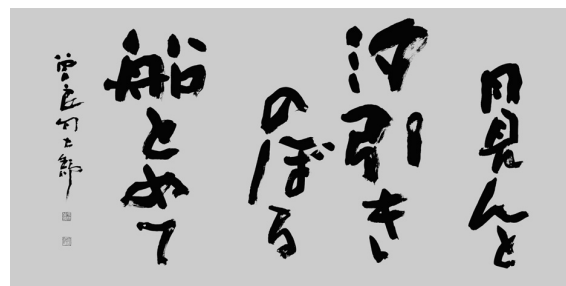
参事 加茂泰玄



参事 山根紅樹



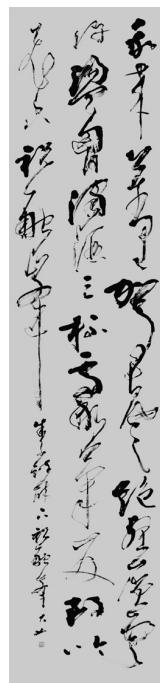
参与 畫間欽堂



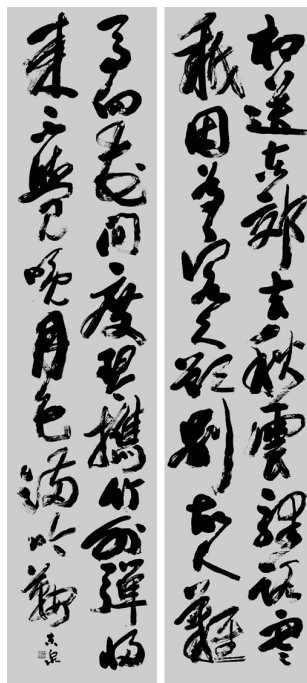
参事 平林大舒



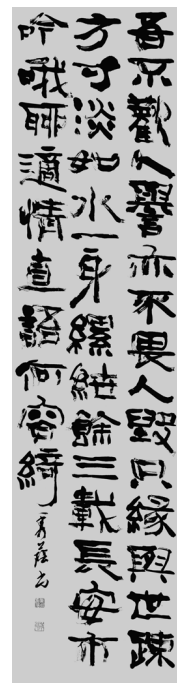
参事 柏木南城



参事 中村大如



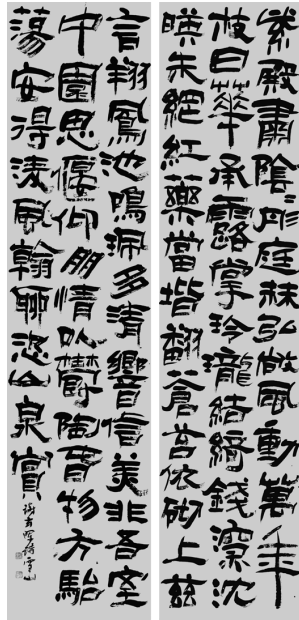
参事 中村東泉



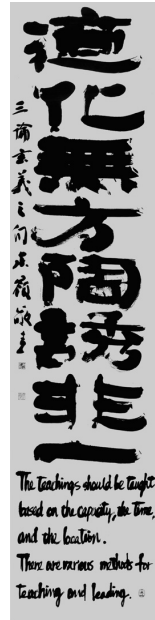
参事 二木秀蔭



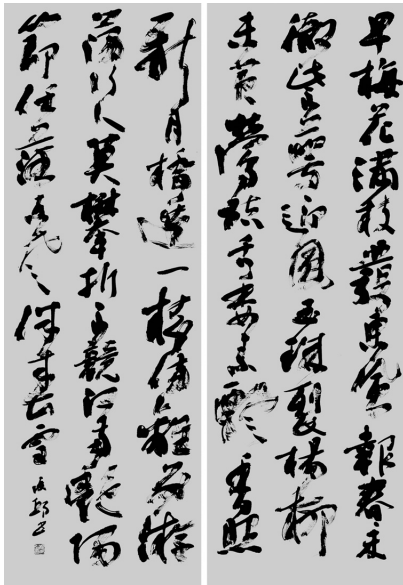
理事長 光谷素仙



副理事長 坪内雪山



副理事長 奥山泰嶺



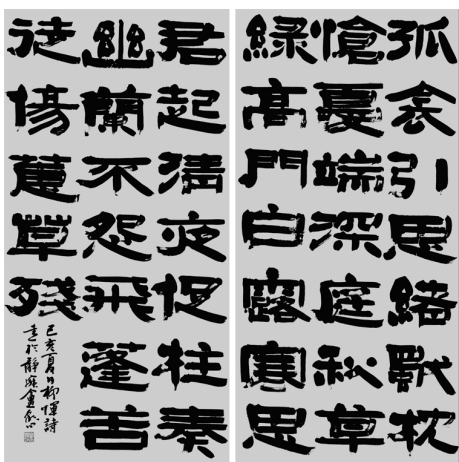
事務局次長 根本泰郎



事務局次長 小峰紀州



事務局次長 鈴木蓮徑



理事 飯野彩心



理事 今井泰篁

理事 高橋珠翠

秋夜何處有餘輝
 雲霞六門他日
 列祇之憔悴
 歸隱
 阮之芳艸由
 夜却真種
 玉心長望

理事 高木素近

紫・窗下關窓
 別時東謂行
 逢嘉不來書心

理事 後上善華

雲心親善
 蓬雲唯色
 則霜易顧

理事 半田桃香

急雨洗殘障
 依平野
 照紫野
 憂國看

理事 富田青軒

清論滿朝
 賦黃塵
 蹴初嫩
 激重寒

理事 中村香柯

萬世情配
 氣愈相談

理事 三浦看山

浮屠行...
 波...
 三浦看山

理事 永井静軒

心悟...
 永井静軒

嶺山橫水觀白龍東城
 峽地一關形孤瀟星
 輝翠嶺夕霞滿日綺
 輝出直落去驚斑馬
 長尾泰邨

監事 長尾泰邨

瀟湘來追柳外漁畫橋南
 畔高柳林月明松窗參差
 起風夜送蓮山在香
 杉戸泰岳

監事 杉戸泰岳

本何有... 渡辺蒼秀

特別賞・審査会員推挙 渡辺蒼秀

忠に心を
 忠と成る
 忠元氣
 送る空
 武内陽華

特別賞・審査会員推挙 武内陽華

優い気持ち
 心の中
 室田彩翠

推薦・会員推挙 室田彩翠

南朝謝朓城東具最波處亡國古如
 鴻遺寺殿煙塢樓飛九十尺廊環四
 百柱高下中風繞松桂樹青首駸朱
 閣白鳥兩相語溪聲人僧夢月色
 暉松塔閑景無且夕憑欄看今古留
 武酒一樽前山看雷雨
 佐藤觀雨

推薦・会員推挙 佐藤觀雨

紅樓疑見白雲飛... 大石碧堂

推薦・会員推挙 大石碧堂

南少晴望... 関根熙雲

推薦・会員推挙 関根熙雲

水邊... 根本柏暢

推薦・会員推挙 根本柏暢

貞香書展

◆貞香書展は、会員展と公募展で構成されています。

◆公募部門には、年齢満15歳（高校生）以上の方どなたでも第1部・第2部どちらかに出品することができます。

◆作品の大きさで第1部・第2部に分かれ、それぞれに、漢字多字数部門（21文字以上）・漢字少字数部門（1～20文字）・仮名部門・詩文書部門があります。

◆作品の表装など取扱の全般を指定表具店に依頼しています。



貞香会総合書展

◆貞香会総合書展は、会員展と公募「書範展」で構成されています。

◆公募「書範展」にはどなたでも出品できます。◇一般部：高校生以上、1人1点 ◇教育部：幼児・小学生・中学生、1人1点 ◇半紙部：どなたでも何点でも

◆出品料は次の通りです。◇一般部：14,000円（大学生12,000円・高校生10,000円）※標準軸装代含む ◇教育部：3,000円（※仮巻ベタ貼り表装代含む）◇半紙部：600円（※裏打ち代含む）

◆'20貞香会総合書展の会期は2020年1月21日(火)～26日(日)まで。東京都美術館で開催します。

◆公募「書範展」作品の取扱全般は東京書範社書範展係が行います。

洗碑会

創設者・中村素堂生誕日の5月2日に東京小石川・伝通院にある中村素堂記念碑(「如是我聞」碑)前で催される先師の遺徳を讃える会です。全国から子弟・関係者が集まり、碑文の前に書作への思いを新たにします。記念碑は、開門時間中はいつでも拝観できますので、お近くにおいでの際はお気軽にお立ち寄りください。

(伝通院 URL：<http://www.denzuin.or.jp>)



講演会

貞香会では貞香書展の会期中に講演会を開催しています。2019年は、東京国立博物館百五十年史編纂室長の恵美千鶴子先生をお招きして、「平安時代の書の美～空海から行成まで～」という演題でご講演いただきます。



近年の講演会開催実績（※講師の先生方の所属等は講演当時のものです）

- 2018年 高橋利郎先生(大東文化大学教授)「近代日本の書」
- 2017年 笠嶋忠幸先生(出光美術館学芸課長)「古典鑑賞と書作」
- 2016年 鍋島稲子先生(台東区立書道博物館主任研究員)
「中村不折と書道博物館コレクション」
- 2015年 大西克也先生(東京大学教授)「楚簡・秦簡より見た戦国時代の漢字について」
- 2014年 富田淳先生(東京国立博物館学芸研究部列品管理課長)
「書譜と黄州寒食詩巻—台北故宮博物院の名跡から—」
- 2013年 名児耶明先生(五島美術館学芸部長・東京学芸大学非常勤講師)
「仮名の散らし書きと日本美」
- 2012年 伊藤滋先生(東京学芸大学非常勤講師・岐阜女子大学特別客員教授)
「日本に所蔵される名帖～碑法帖拓本の世界～」
- 2011年 島谷弘幸先生(東京国立博物館副館長)「書の変遷 その必然性と未来」
- 2010年 杉村邦彦先生(京都教育大学名誉教授・書論研究会会長)
「多胡碑の朝鮮・中国への流伝とそれにかかわった人たち」
- 2009年 松丸道雄先生(東京大学名誉教授)
「漢字研究の最前線—新石器時代から楷書成立まで」
- 2008年 松井茂陽先生(株式会社墨運堂顧問)「墨の不思議」

競書誌『書範』

◆貞香会の競書誌で毎月1日に発行されています。創設者中村素堂先生の随筆や、貞香会関係の展覧会情報などが掲載されています。ぜひご一読ください。

◆詳細については、東京書範社事務局までお問い合わせ下さい。

〒346-0005 埼玉県久喜市本町6-8-18

TEL : 0480-21-2443



展覧会のご案内

令和元年(2019)

○第71回 毎日書道展(東京展)

会場：国立新美術館 会期：7月10日(水)～8月4日(日)※火曜休館、水曜午後1時開会

会場：東京都美術館 会期：7月18日(木)～7月25日(木)

○第33回 西蓮会書展

会場：銀座かねまつホール 会期：10月11日(金)～15日(火) 11:00～19:00

○第50回記念 墨光書展

会場：東京銀座画廊8階 会期：10月8日(火)～13日(日) 10:00～18:00

○第68回 大正大学全国書道展

会場：大正大学巣鴨キャンパス内 会期：11月2日(土)・3日(日)

URL：<http://www.zenkokuten.com/>

令和2年(2020)

○'20貞香会総合書展 会員展・書範展

会場：東京都美術館 会期：1月21日(火)～1月26日(日)

書範展にはどなたでも出品できます。詳細は11頁をご覧ください。

本日は第54回貞香書展にご多用中にもかかわらずご光来賜りご懇情をいただき誠にありがとうございました。皆さまのお言葉を励みに会員一同書の道に精進してまいります。

今後ともご指導のほどよろしくお願いたします。本来ならば拝眉の上ご挨拶申し上げるべきところ、御礼とさせていただきます。

令和元年6月26日
第54回貞香書展出品者一同

